

**「なくせ！原発 安心して住み続けられる福島を！」**

**「11・2ふくしま大集会」の成功へのご協力を訴えます！**

「『収束宣言』撤回し、国の責任で放射能汚染水問題の解決を！」、「徹底した除染と完全賠償を！」、「すべての福島原発の廃炉を！」など、福島県民の切実な願いを寄せあう場として成功がめざされている標記の集会開催まで10日を切りました。

高濃度の汚染水が漏れつづけているにもかかわらず、それへの対策よりも原発再稼働や原発輸出を先行させる安倍政権の暴走にストップをかけるためにも極めて重要な集会です。

困難な避難生活に耐え、被ばくの恐怖におびえながら、「元の福島も返せ」と粘り強くたたかっている福島の人々への連帯を形にする集会でもあります。

何としても集会を成功させたいと、現地実行委員会は昼夜を分かたず奮闘しています。これに応じて県内でも、県外からもバスをチャーターした参加の報告も相次いでいます。しかし、目標にした参加者数には今一步の状況です。

集会を成功させるため、

**各団体の福島県内組織への援助を強めていただくこと**

**東日本を中心に、最終盤の集会参加の呼びかけを改めて強めていただくこと**

**ホームページなども活用し、現地実行委員会が発行している「11・2ふくしま大集会ニュース」を広く拡散していただくこと**

の3点について、早急な取り組みをお願いします。

この秋、原発再稼働を許さず、原発依存のエネルギー政策の転換を求めるたたかいかいも、福島原発事故被害者への全面賠償を国と東電に迫るたたかいかいも極めて重要な時期を迎えています。

その状況認識が共有され、10月13日(日)に首都圏反原発連合、さようなら原発1000万人アクション、原発をなくす全国連絡会が共同で取り組んだ「10.13 NO NUKUES DAY」は、延べ4万人の参加で成功しました。

今度は福島集会の成功のために、その力をお寄せください。

皆様のご協力を心から訴えます。

**2013年10月24日**

**原発をなくす全国連絡会運営委員会**